

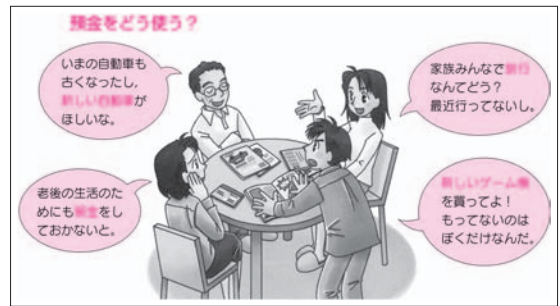
私たちのくらしと経済

静岡県 公立中学校教諭

今回の教科書の改善点

今回の教科書改訂により、「私たちと経済」の単元では、大きな改善が3つ行われている。

第一は、「経済」という大きな単元の構成に関わる改善である。これまでの教科書では、この単元を「経済」という用語を理解させた後に、経済の主体は「家計」「企業」「政府」であることを押さえ「経済の循環」について理解させてから、「家計」「企業」「政府」の経済活動について学ぶ構成であった。これは、用語理解の後に、理論的に経済を学んでいく構成になっているため、生徒にとっては、取っつきにくく、「経済は難しい」という印象を最初に与えてしまうものであった。今回の改訂によって、私たちの生活が、「経済」と強く結びつき、実生活の中に経済があることを体感させる授業が組みやすい構成に改善された。まず、家庭の預金の使い方を考える場面を経済の学習の導入としたため、経済の学習にスムーズに入ることができる。そのあと、経済活動を「消費者として（2章）」「企業を通して（3章）」、実生活を通して考える学習を行う。その後、この2つの主体だけでは経済の循環がうまく成り立たないことを、身近な学校生活から気づかせ、経済のもう一つの主体である政府の経済活動を「納税者として（4章）」学習していくという構成にしている。これによって、経済の学習が、用語理解から入



「中学生の公民 初訂版」p.34

る学習から、実生活に深く関係する学習に大きく転換された。これにより、生徒が興味や関心を持って学習に取り組めるようになり、学習内容の理解度や社会的事象に対する思考も飛躍的に深まった。

第二は、3章「企業を通して」の小単元で、企業の企画書づくりを通して、企業の経済活動とそれに伴う経済の動きを学んでいける工夫である。企業の企画書例をいくつかあげるとともに企画書の書き方を例示してあり、生徒は企画書を身近に感じ自分の考えを表現しやすくなっている。

また、教材の配列を工夫し、金融については、別枠になっていたのを「株式」の次に学

企業名	KAZUYA
キャッチコピー	環境にやさしいKAZUYA
企業の拠点	本社……東京(家の近く)
事業の売上	1億円(よくわからない)
(資本金)	
事業内容	自動車の生産
従業員数	約500人
社会的な役割	環境の保護に努める。

▲かざやの企画書

企業名	グランチオーソ
キャッチコピー	おいしい料理をみなさんへ
企業の拠点	駅前の商店街
事業の売上	100万円くらい
(資本金)	
事業内容	イタリア料理のレストラン
従業員数	約10人
社会的な役割	おいしい料理で人を楽しませる。

▲さやかの企画書

「中学生の公民 初訂版」p.49

ぶ構成とし、企業の資金調達という観点で「株式」とともに「金融」を考えることができるようになった。また生徒の生活実感をふまえライバル企業との競争の観点から、新商品開発・国際化する企業・為替相場を考えることができるなど、企業経営をしていく観점에서ストーリーを持って学習できるようになっている。

第三は、4章「納税者として」の小单元である。前年度の教科書では、「政府」の経済活動と財政について、少子高齢化という社会問題から、社会保障と福祉を考え、国の財政について学んでいく方法がとられていたが、生徒にとっては、実感がない問題で今ひとつ興味がわからないものであった。しかし、今回の改善により、第一の改善でも述べたように、生産と消費による経済活動に、利潤を伴わないサービスを提供する主体としての「政府」の役割を、生徒の身近な学校生活の備品の金額当てクイズから入り、その代金はだれが払っているかを考えることによって、「政府」の役割について気づき、「納税者として」財政の学習に入っていく工夫がされている。



「中学生の公民 初訂版」p.72

以上3点の大きな改善を考慮した授業展開について、次に事例をあげて提案したい。

3章「企業を通して経済を考えよう」

の授業展開例

生徒にとって、自分の企業を自由に企画することは、将来の夢をふくらませ実現していくことであり、興味を持って取り組むことができる。そして、その企業が様々な課題に直面し、その解決策を考えていく過程で、現実社会の経済を学んでいくというストーリーを持った授業が組めるのも、今回の教科書の工夫の一つである。私のこれまでの授業実践を基に、この教科書の改善点を活用した授業案を次のように考えた。

1. 課題を設定しよう（導入）

最初に、この学習の導入として、ニュースやCMなどで生徒たちが知っている企業の写真や名前をいくつかあげ、何をしている企業か知っていることを自由に発表させ、企業について興味を持たせる。その後、自分がどんな企業を作りたいかを自由に発表させ、教科書p.49のかずやさんとさやかさんの企画書を例示して、今回の授業を通して、「企業の企画書を作ってみよう」という学習を通した課題を設定する。



「中学生の公民 初訂版」p.48

2. 企業をつくるには何が必要かな？

生徒から出てきた様々な企業のアイデア

からいくつかの企業について、その企業をつくるには何が必要か自由に発表させ、それぞれどれくらいの金額がかかるか考えさせる。ここでのポイントは、「製造業」「商業」「流通業」の一つに偏ることなく、それぞれに関する企業を例示することである。その後、生徒から出た、いくつかの企業の例をあげ、なぜ生産や販売をするのかを問い、考えさせる。企業の活動の目的が「利潤」にあることを押さえ、教科書の「企画書」を活用し、画用紙に4人グループで企画案を記入させる（「キャッチコピー」「社会的な役割」については、最終的な企画書で取り扱うのでカットする）。

企 業 名
企 業 の 提 点 事 業 の 元 手 (資 本 金) 事 業 内 容 従 業 員 数

「中学生の公民 初訂版」 p.49

3. 企業をつくる資金を手に入れる方法は？

生徒たちが考えた企画書を発表させ、『企業をつくるための資金をどのように手に入れるか』という小課題を設定する。課題について生徒に考えさせ自由に発表させる。生徒からは、お金を借りるという発想は出やすい。これを活用し「金融」(p.54~55)を学習するとともに、もっと良い魔法の方法があるとして、「株式」(p.52~53)を学習する。ここでのポイントは、生徒の意見を活用して「金融」と「株式会社」について押さえることであり、学習する順序は生徒の意見によって前後させることが必要である。

4. ライバル登場！ どうする？

生徒たちが企画した企業がもうかると、まねする企業が出て、ライバルが登場すること

を伝え、『ライバル企業に勝つには？』という小課題を設定する。この課題について、生徒に自由にアイデアを発表させた後に、教科書p.56~57の写真から、企業の工夫の様子を学習する。これらの学習を基に、グループで立案した企業のライバル企業に勝つ方法を考えさせ画用紙にまとめさせる。



「中学生の公民 初訂版」 p.56

5. 「不景気」で会社がピンチ！

前回、各グループでまとめた、ライバル企業に勝つ方法を発表させ、「自由競争」の始まりが社会に「好景気」をもたらすことを押さえる。しかし、ものやサービスがあふれ余り始めたらどうなるか考えさせ、「不景気」の社会状況を予想させる。ここで『不景気を乗り切れ』という小課題を設定する。ものやサービスが売れなくなったらどんな工夫をするか考え発表させる。その後、p.63で新商品開発や経費節減の工夫、p.58で外国企業との提携や企業の海外進出、p.61で貿易と為替相場について学習する。これらの学習を基に、グループで企画した企業の不景気対策を立案させ、画用紙にまとめさせる。

6. 労働者が安心して働ける企業とは？

前回、各グループでまとめた、不景気対策を発表させる。この発表の中で、「リストラ」という言葉が出てくるため、これを活用して、もし、労働者の立場で、「リストラ」されたら

どうするか自由に発表させる。生徒は、会社の指示に従うしかないと思っている者が多いため、労働者は、保障された権利を活用し自分たちの生活を守る努力をしていることを押さえたい。このため『労働者が安心して働ける企業をつくるには』という小課題を設定し、p.64～67で労働者の権利と労働をめぐる課題を学習する。グループで考えさせてから教科書p.64の従業員募集広告について意見交換「中学生の公民 初訂版」p.64し学習を深める。

プロダクト新入社員募集
株式会社 エコ・モーターズ

給与 一六万三千元
勤務地 東京・大阪
勤務時間 九時～十七時
職種 技術開発
ボーナス年一回
交通費全額支給
海外研修制度あり

「環境にやさしい商品の開発に力を入れています。ぜひ当社で活躍してください。」

元気な新入社員募集
株式会社 O.O自動車

給与 二十万三千元
勤務地 東京・大阪
勤務時間 八時～十八時
職種 営業販売
ボーナス年一回
交通費全額支給
休日出勤手当あり

「環境にやさしい商品の開発に力を入れています。ぜひ当社で活躍してください。」


7. 企業はもうけるだけでいいの？

生徒に、企業の活動する目的を再び問いかけ、それが「利潤」であることを確認してから、『企業はもうけるだけでいいのか？』という小課題を設定する。不景気で多くの企業が倒産し、数社しか残らなかったら、大もうけする方法があることをほのめかし、生徒に考えさせる。「企業が手を組む」という案が出てきたらこれを活用し、独占やカルテルが社会に与える不利益についてp.57で学習する。その後、p.68～69の様々な企業が社会貢献していることを学習し、身近な企業の具体的取り組みについて知っていることをや調べたことを発表させる。その後、グループの企画した企業の社会的貢献について話し合わせる。

いま見よう 身体に障害があっても

人は障害の有無にかかわらず、才能を発揮できる。そう考えて障害のある人を積極的に雇用している企業があります。マイクロホンなどを製造するS社では、社員の約60%が障害のある人です。障害にあわせて作業の負担を軽減させており、障害のある人も貴重な人材が活躍できる職場環境を築いています。

▲ S社の職場のようす (大分県)



「中学生の公民 初訂版」p.69

8. 自分たちの企業の企画書をつくろう

これまでの授業を通して、4人グループで教科書p.71の企画書やp.64の労働者募集を参考にして、企業の企画書づくりに入る。

株式会社 KAZUYA 高橋和也

キャッチコピー **「環境にやさしいあなたの家」**



企業の拠点 本社……東京
営業所……大阪・名古屋・仙台・福岡・札幌
工場……高崎、ウアラランブール（マレーシア）

資本金 5億円
事業内容 自動車の生産
従業員数 約3,000人
取引銀行 神田銀行 南関東銀行
社会的な役割 環境にやさしい車、環境にやさしい家を開発する。世界中で最もやさしいエコカーがアイディアの結晶の結晶。

採用方針 学歴、性別にとられない能力主義。年俸制の導入
福利厚生 有給休暇年40日 育児休業・介護休暇制度 社内研修所あり その他奨励制度あり

▲ かずやの企画書

生産費用をおさえるために、海外にも工場をつくりました。これからはユニバーサルデザインが大切だと思い、だれにでも使いやすい自動車をめざすことにしました。

(株) グラチオーソ 藤原さやか

キャッチコピー **「おいしい料理、かえりやすい」**



企業の拠点 高松市のインターネットカフェの近く

資本金 4,000万円
事業内容 イタリア料理のレストラン
従業員数 約10人
取引銀行 新宮信用金庫
社会的な役割 料理を通して人の輪を繋ぎ、街の賑わいにつなげる。地域の発展を応援します。

採用方針 楽しい料理人がほしい。パートタイム・アルバイトの導入。
福利厚生 子どもが小さくても働きやすい制度（奨励し育児休業あり）、産休、育児休暇など） イタリア研修旅行

▲ さやかの企画書

会社の名前はイタリア語で「かわいい」という意味よ。従業員にとって働きやすいよう、子どもが小さくても働きやすい制度をつくりました。

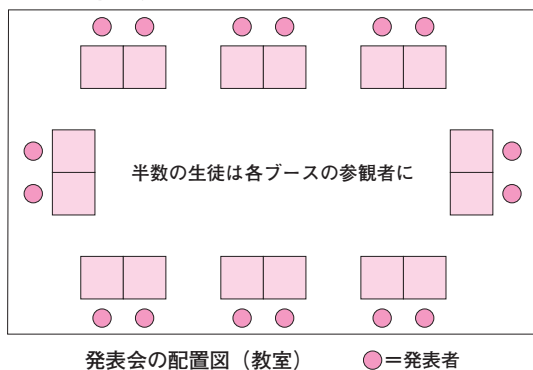
「中学生の公民 初訂版」p.71

ここで、以下のことに注意したい。①企画書の発表会を行う。この発表会は、各グループごとのブース（店）を設定し、前半と後半で2名ずつ発表する者と、他の発表を聞きに行き評価する者が交代して運営すること。②発表会后に、他のグループの発表を参考にして、各自グループと違う企業企画書を1人1枚ずつ提出すること。③企業企画書の評価の項目を配布し、見通しを持たせる。これは、あらかじめ生徒に伝えておく（評価項目は次ページ参照）。①②によってグループを頼る生徒がなくなり、個々の取り組みも意欲的になり、発表会も活発なものになる（最初から個人企画書にしなかったのは、不得意な生徒が、初めから投げ出すことなく、グループで教えられることによってまとめる方法を学習できるようにするためである）。③によって、何について考えれば良いかが明確になって、

生徒も取り組みやすくなるとともに評価も明確になる。

9. 発表会を開こう

発表会は、グループごとに前に出て行う形式では、時間が長くなり生徒が飽きてしまい効果的とはいえない。このため、前述のように各グループごとにブース（店）を開き、2人ずつ発表する者と他のグループ発表を聞きに行く者に分かれ、前半・後半でそれが入れ替わることとした。これによって、①2人でグループの発表をしなくてはならないため、より真剣に準備をすることで個々の理解が深まる（1人にしないのは、1人ではとても説明できない生徒もいることを考えてである）。②それぞれのブースごとに発表を聞く者が散らばり少人数になるため、質疑応答も活発化し実りある発表会になる。③参観者が近くにいて少人数のため、模造紙に大きな文字や表を書く必要もなく、画用紙程度にまとめることができ、発表準備も本来の内容に集中することができる。



この発表会では、聞く者が観点別評価表に発表を聞きながら記入し、教師に提出する。教師は評価材料として活用するとともに、それを発表者に渡し生徒同士の相互評価に活用したい。このとき、教師も各ブースを回って質疑応答の様子を評価用紙に記入するとともに、参観者が来ないブースには、教師が参観者として事前に示した評価項目について質問

をすることを心がけたい（参観者がだれも来ないブースをつくらない教師の気遣いが発表会を成功させる）。

10. 発表会を基に個人企画書を完成しよう

発表会で使ったグループの企画書や、他のグループの発表から学んだ点、参観生徒が記入した相互評価表などを参考に、各個人ごとに1人1枚の企画書を作成し提出させる。これによって、学習内容がさらに定着し深まる。定期テストには今回の内容を出題することを伝え、出題するとともに先の企画書とあわせて評価の材料としたい。

11. 評価項目について

前述したように、発表会の準備の場面、発表会中の質疑応答場面、生徒同士の相互評価カード、個人企画書など、各場面や資料によって評価をしていきたい。発表会準備前に明示するものについては、評価項目に授業で学習してきた内容が含まれるようにしたい。

私は、次の評価項目を立ててみた。

①企画書に次の内容が書かれているか。

また、その妥当性について。

- ・企業名
 - ・キャッチコピー（セールスポイント）
 - ・企業の拠点（営業所・工場などを置く場所がその役割や商品から考えて適切か）
 - ・資本金（準備する方法）・事業内容
 - ・従業員数・取引銀行
 - ・社会的な役割（社会への貢献方法）
 - ・採用方針・福利厚生
- （働きやすい企業のための工夫）

②ライバル企業対策が適切か。

③不景気対策が適切か。